



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 保土谷化学工業株式会社  
 コード番号 4112 URL https://www.hodogaya.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松本 祐人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員  
 兼経営企画部長 (氏名) 砂田 栄一 TEL 03-5299-8019  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,353	21.9	2,260	378.3	2,396	392.2	1,068	250.8
2020年3月期第1四半期	8,497	△0.7	472	△23.2	486	△39.1	304	△43.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,413百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △219百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	135.22	—
2020年3月期第1四半期	38.56	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	56,587	39,163	62.5
2020年3月期	54,903	37,040	61.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 35,382百万円 2020年3月期 33,941百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

2021年3月期の配当予想は未定です。

### 3. 2021年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想（2020年4月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	18,300	4.3	2,000	146.3	2,100	165.1	700	24.3	88.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2021年3月期通期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点において合理的に見積もることが困難であることから、第2四半期（累計）のみ開示しております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	8,413,726株	2020年3月期	8,413,726株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	507,424株	2020年3月期	510,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	7,904,658株	2020年3月期1Q	7,902,845株

※ 四半期決算短信は従来より監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点において、通期の合理的な業績予想の算定が困難であることから、第2四半期（累計）のみ開示しております。今後、合理的に見積もることが可能となった時点で、速やかに公表いたします。  
なお、詳細につきましては、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済・社会活動が停滞し、急激に減速しました。

その中、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、緊急事態宣言の発出もあり、経済・社会活動が制限され、景気は急激に減速しました。

各国で広がっている新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界経済の減速は、今後も予断を許さない状況にあります。

このような情勢下、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1,856百万円増(21.9%増)の10,353百万円になりました。

損益面では、売上高の増加により、

営業利益は、前年同期比1,788百万円増(378.3%増)の2,260百万円となりました。

また、経常利益は、前年同期比1,909百万円増(392.2%増)の2,396百万円、

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比764百万円増(250.8%増)の1,068百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

## 〔機能性色素セグメント〕

イメージング材料事業は、プリンター向け材料の需要低迷に加え、新型コロナウイルス感染症により、在宅勤務への移行が加速したため、印刷需要が減少し、減収となりました。

色素材料事業は、アルミ着色用染料でスマートフォン向け販売の伸び悩みや、用途展開の遅れに加え、新型コロナウイルス感染症により、繊維向け染料の需要が減少し、大幅な減収となりました。

一方で、有機EL材料事業は、スマートフォン向けディスプレイ分野において、液晶から有機ELへの切り替えが進んでおり、需要が増加しました。

また、当社の子会社において、有機EL材料の用途展開として、PCR診断キット用材料(以後、キット用材料)の開発に成功し、複数の診断キットメーカーに採用されたことにより、大幅な増収となり、利益面にも大きく寄与しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比2,383百万円増(95.2%増)の4,886百万円となりました。

## 〔機能性樹脂セグメント〕

ウレタン原料向けおよびタイヤ用途向けが、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症による自動車メーカーの操業停止等の影響を受け、大幅な減収となりました。

また、建築材料事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、工事の延期や中止等が発生し、材料販売や防水・止水工事の需要が減少したため、大幅な減収となりました。

さらに、特殊化学品事業は、剥離剤向けが堅調に推移したものの、医薬向け中間体の需要が減少し、大幅な減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比514百万円減(18.5%減)の2,272百万円となりました。

## 〔基礎化学品セグメント〕

過酸化水素誘導品は、衣料用漂白剤や家庭用洗浄剤向けの需要が増加し、大幅な増収となりました。

一方で、過酸化水素は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、紙パルプメーカーの操業が悪化し、また、旅行者が減少したことでリネン向けの需要が減少したため、大幅な減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比106百万円減(6.1%減)の1,621百万円となりました。

## 〔アグロサイエンスセグメント〕

殺虫剤は、顧客の在庫調整により販売量が減少しましたが、一方で、ゴルフ場向け除草剤の需要が堅調に推移し、また、家庭園芸向け除草剤は、新型コロナウイルス感染症による巣籠りで需要が増加したため、大幅な増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比143百万円増(15.1%増)の1,088百万円となりました。

## 〔物流関連セグメント〕

新型コロナウイルス感染症や米中貿易摩擦の影響を受け、輸出の取り扱い量が減少し、減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比46百万円減(9.4%減)の445百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末(6月末)における資産合計は、前連結会計年度末(3月末)比1,684百万円増加し、56,587百万円となりました。

主な増減要因は、投資有価証券の増加731百万円、商品及び製品の増加706百万円、現金及び預金の増加511百万円、原材料及び貯蔵品の増加278百万円、有形・無形固定資産の増加273百万円、受取手形及び売掛金の減少967百万円等であります。

負債合計は、前連結会計年度末比439百万円減少し、17,424百万円となりました。

主な増減要因は、支払手形及び買掛金の減少288百万円、短期・長期借入金の減少280百万円等であります。

純資産合計は、前連結会計年度末比2,123百万円増加し、39,163百万円となりました。

主な増減要因は、利益剰余金の増加871百万円、非支配株主持分の増加681百万円、その他有価証券評価差額金の増加514百万円等であります。

以上の結果、自己資本比率は62.5%となり、前連結会計年度末の61.8%から0.7ポイント改善しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきまして、2021年3月期第2四半期(累計)の業績予想がまとまりましたので、開示いたします。

当社グループの主たる事業活動は、企業間取引(B to B)による素材生産・販売事業であり、販売先の事業活動(特に、スマートフォン事業、自動車産業等)の状況に影響を受けます。

新型コロナウイルス感染症は、販売先の事業活動の低下を招いており、

引き続き、大幅な需要減退が国内外で想定されます。

一方、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を背景に、PCR診断キットの需要が急拡大し、

当社の子会社で開発したキット用材料の需要は、急激に増加しました。

これにより、当第1四半期連結累計期間における売上高、営業利益、経常利益、

親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比で大幅に増加いたしました。

しかしながら、足元では、新たなキット用材料メーカーの市場参入により競争が激化したことに加え、

PCR検査以外の検査方法(抗原検査等)の併用も更に進むこと等から、

第2四半期連結会計期間以降は、キット用材料の大幅な需要減少を想定しております。

以上の想定を踏まえ、当第2四半期(累計)連結の業績予想は、

売上高は18,300百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は2,000百万円(同146.3%増)、

経常利益は2,100百万円(同165.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は700百万円(同24.3%増)

としております。

なお、2021年3月期通期の業績予想につきましては、

新型コロナウイルス感染症拡大等の業績への影響を合理的に見積もることが困難なため、

「未定」とし、合理的な見積もりが可能となった時点で公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,877	7,389
受取手形及び売掛金	11,250	10,282
商品及び製品	4,251	4,958
仕掛品	624	681
原材料及び貯蔵品	2,169	2,448
その他	410	482
貸倒引当金	△21	△23
流動資産合計	25,563	26,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,326	6,199
土地	11,967	11,969
その他(純額)	4,814	4,204
有形固定資産合計	22,108	22,373
無形固定資産		
ソフトウェア	127	133
その他	30	32
無形固定資産合計	157	165
投資その他の資産		
投資有価証券	5,966	6,697
長期貸付金	261	409
繰延税金資産	344	192
その他	694	723
貸倒引当金	△192	△192
投資その他の資産合計	7,074	7,830
固定資産合計	29,340	30,369
資産合計	54,903	56,587

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,179	3,891
短期借入金	3,203	3,211
未払法人税等	360	528
引当金	504	278
その他	1,959	1,900
流動負債合計	10,207	9,810
固定負債		
長期借入金	3,950	3,662
繰延税金負債	1,108	1,376
再評価に係る繰延税金負債	1,228	1,228
引当金	1	1
退職給付に係る負債	69	70
資産除去債務	81	81
その他	1,215	1,192
固定負債合計	7,655	7,613
負債合計	17,863	17,424
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	8,706	8,706
利益剰余金	11,396	12,267
自己株式	△1,712	△1,702
株主資本合計	29,586	30,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,146	1,661
土地再評価差額金	2,783	2,783
為替換算調整勘定	424	468
その他の包括利益累計額合計	4,354	4,913
非支配株主持分	3,099	3,780
純資産合計	37,040	39,163
負債純資産合計	54,903	56,587

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	8,497	10,353
売上原価	5,663	5,514
売上総利益	2,833	4,839
販売費及び一般管理費	2,361	2,579
営業利益	472	2,260
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	99	106
固定資産賃貸料	15	16
雑収入	63	70
営業外収益合計	182	196
営業外費用		
支払利息	16	12
為替差損	117	23
環境関連整備費	17	18
雑損失	15	6
営業外費用合計	167	60
経常利益	486	2,396
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	5	3
投資有価証券評価損	25	—
特別損失合計	31	3
税金等調整前四半期純利益	455	2,393
法人税等	72	577
四半期純利益	383	1,816
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	747
親会社株主に帰属する四半期純利益	304	1,068

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	383	1,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△338	514
為替換算調整勘定	△258	83
退職給付に係る調整額	△6	—
その他の包括利益合計	△603	597
四半期包括利益	△219	2,413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△188	1,627
非支配株主に係る四半期包括利益	△30	786

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	455	2,393
減価償却費	340	346
引当金の増減額 (△は減少)	△233	△223
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21	1
受取利息及び受取配当金	△102	△109
支払利息	16	12
為替差損益 (△は益)	57	2
有形固定資産除却損	5	3
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1
投資有価証券評価損益 (△は益)	25	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,091	980
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△458	△1,018
仕入債務の増減額 (△は減少)	△866	△283
その他の資産・負債の増減額	△149	199
未払消費税等の増減額 (△は減少)	39	△20
その他	42	△0
小計	242	2,284
利息及び配当金の受取額	100	104
利息の支払額	△15	△12
法人税等の支払額	△392	△236
営業活動によるキャッシュ・フロー	△65	2,140
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△19	—
定期預金の払戻による収入	19	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△326	△1,111
有形固定資産の除却による支出	△1	△0
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	2
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△7	△154
貸付金の回収による収入	6	5
差入保証金の差入による支出	△1	△35
差入保証金の回収による収入	14	4
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△314	△1,288

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△369	△280
配当金の支払額	△0	△0
非支配株主への配当金の支払額	△38	△50
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△6	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△414	△361
現金及び現金同等物に係る換算差額	△108	20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△903	510
現金及び現金同等物の期首残高	7,442	6,769
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,539	7,279

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性が欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロサイエンス	物流関連	計				
売上高										
(1)外部顧客に対する売上高	2,502	2,787	1,727	945	491	8,455	42	8,497	—	8,497
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	41	45	22	—	359	468	21	490	△490	—
計	2,543	2,833	1,750	945	851	8,924	63	8,987	△490	8,497
セグメント利益又は損失(△)	156	49	110	58	108	483	△12	470	1	472

(注1) 各セグメントの主な製品

(1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等

(2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、  
ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事  
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体

(3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料

(4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤

(5)物流関連・・・倉庫業、貨物運送取扱業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
(1)外部顧客に 対する売上高	4,886	2,272	1,621	1,088	445	10,314	39	10,353	—	10,353
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	40	32	9	—	330	412	37	450	△450	—
計	4,926	2,304	1,631	1,088	775	10,727	77	10,804	△450	10,353
セグメント利益 又は損失(△)	2,031	△12	138	16	80	2,254	5	2,259	1	2,260

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、PCR診断キット用材料、各種染料等
- (2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事  
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
- (3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料
- (4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
- (5)物流関連・・・倉庫業、貨物運送取扱業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。